

令和4年5月

GIS 基礎技術研究会会員各位

ごあいさつ

前略、会員の皆様におかれましては、益々ご精勤、ご活躍のことと存じます。平成9年より始まった GIS 基礎技術研究会は、今年で26年目を迎えることとなります。さて、今年度も新型コロナ感染の影響はまだまだ拭えませんが、従来通り、講演会・実習を年8回（GISDAYを含めると講演は10回）開催したいと考えております。また、講演会につきましては、対面とオンラインのハイブリッド形式による開催とさせていただきます。

実習につきましては、昨年度から開始した ArcGIS Pro の初級コースを定例で開催するとともに、応用コースを夏季特別コースとして開催する予定です。また、コンサルティング・技術相談を中心とした個別テーマコースも従来通り開催します。詳細につきましては案内をご覧ください。と思います。

なお、今年度も新型コロナによる影響のため、スケジュールの変更など会員の皆様には色々ご迷惑をおかけすることが発生するかもしれませんが、昨今の事情をご拝察いただければと思います。

さらに、毎回のご案内になりますが、この GIS 基礎技術研究会は、NPO 法人「環境システムフロンティア」の事業の一つとして実施しているものです。昨年度、NPO 法人では、GIS 基礎技術研究会としての活動に加えて「災害救援事業」、「地域安全活動」、「情報化社会の発展を図る事業」など、活動の幅を広げております。昨年度も様々な事業を NPO の会員の協力のもと実施しました。NPO の会員となりますとこれら NPO が受託した事業と一緒に実施することが可能となります。事業の詳細につきましては、環境システムフロンティアの HP をご覧ください。

このような NPO の活動についてご理解、ご賛同いただける皆様には、是非とも本 NPO の会員として NPO に参画していただきたく存じます。ご賛同いただける方は申し込み書中に入会の意思を示していただくだけで結構です。なお、NPO の会員になられた方は GIS 基礎技術研究会の会費の一部を NPO の会費に充当させていただくこととなりますが、追加のご請求等はありません。

末尾ながら、皆様と共に新たな地理空間情報技術を学び、更なる発展を期することを願っております。何かご質問やご意見がございましたら下記まで遠慮なくお問い合わせ下さい。

敬具

特定非営利活動法人 環境システムフロンティア

理事長 三谷 泰浩

E-mail: gis.kenkyukai@gmail.com 電話 092-802-3399

令和4年度GIS基礎技術研究会のご案内

昨年度も未曾有のコロナ禍に見舞われ、その影響で本会の開催自体が危ぶまれる中、皆様から多大なるご理解・ご協力を賜りました。お蔭様で、研究会発足から途絶えることなく、26年目となる本年度を無事迎えることが出来ました。本研究会に積極的なご指導とご協力を賜りましたこと改めて深く感謝申し上げます。

さて、昨年度は6月より講演会を8回、実習を年8回開催して参りましたが、今年度も例年のとおり6月からの開催とし、講演を8回（10名の講演者）、実習を8回のスケジュールで行う予定です。

詳細につきましては、第1回目の講演会開催時にご説明致しますが、概要は下記の通りです。ご協力の程お願い致します。また、GIS基礎技術研究会の入会申し込み、実習の希望コースの申し込みにつきましてもよろしくお願い致します。

－運営方法の要点－

(1) 名称

名称は昨年度と同様GIS基礎技術研究会とします。

(2) 会員、会費等

① 会員は個人会員、特別会員（官庁関係等）、法人会員とします。会費は例年と同様とし、個人会員1万円、特別会員3万円、法人会員6万円とします。

② 特別会員（官庁関係者）については、1口につき3名まで出席可能とします。

※法人会員についても同様3名までです。

③ 実習費は別途1名につき2万円とします。

④ GISソフトウェア1本の年間利用費は、基本料として年額4万円（九州大学学内利用者は年額2万円）とし、ソフトウェア1本を含みます。また、ソフトウェア本数を追加する場合は基本料に加え、追加する本数に5千円を乗じた価格になります（九州大学外利用者の場合：1本追加（合計2本）は4万5千円）。なお、GISソフトウェアの年間利用を申し込む会員は、別途、本会代表とGISソフトウェア利用に関する契約を行う必要があります（ここでの年間とは、GIS基礎技術研究会の開始月（6月）から翌年3月31日までとします。翌年4月から5月の間も利用したい場合はご相談ください）。さらに研究会において、研究内容や実施例等を報告して頂きます。

⑤ NPO法人環境システムフロンティアに入会ご希望の方は、申込書の入会希望欄にご記入下さい。

⑥ 本年度も引き続き、GIS基礎技術研究会は、NPO法人環境システムフロンティアの技術啓蒙、普及事業として行います。

<会費のお振込先>

金融機関名：西日本シティ銀行 箱崎支店 口座番号：普通 1552701

口座名：特定非営利活動法人 環境システムフロンティア

(3) 講演

年8講演の開催を予定しており、3～4回は事例紹介とする予定です。開催方式は、現地講演およびインターネットによるリアルタイム配信を併用したハイブリッド方式となります。時間は、12月および来年2月を除き、午前10時から2時間を予定しています。開催スケジュールにつきましては、<年間スケジュール表>をご参照ください。

(4) 実習

※重要 昨年度から、実習で取り扱う地理情報システム（GIS）をArcGIS DesktopからArcGIS Pro

へ移行致しました。昨年度においては、ArcGIS Pro の基本的な操作習得を目的とした「初級コース」のみを実施致しました。本年度は、この「初級コース」に加えて、ArcGIS Pro による高度な GIS 解析の具体的手法の習得を目的とした「応用コース」を夏季特別コースとして実施致します。

■ 内容：実習は下記の 3 つのコースに分かれて実施する予定です。

- ① ArcGIS 初級コース ArcGIS Pro の基本的な操作からデータの作成や解析、マップシェアリング等の基礎技術を習得することを目的とします。
- ② 夏期特別コース ArcGIS Pro の基礎的な操作を習得している方を対象に、様々な GIS 解析を実施するために必要なプロセスやツールの具体的な取扱い方や手法の習得を目的として、「ArcGIS Pro 応用コース」を午後（13 時から 3～4 時間程度を想定）から開始で計 5 日間の短期集中型で実施致します。また、参加者側が準備した自主的テーマまたは具体的な実問題に対しても個別に技術相談、実習指導で対応します。
- ③ 個別テーマコース 業務・研究などで GIS を使用される方のコンサルティングを行います。希望者に応じて実施致します。

■ 開催日

年 8 回（8 テーマの実習）を実施する予定です。時間は、11 月と 12 月を除き、午後 1 時から 4 時までの 3 時間となっております。スケジュールは＜年間スケジュール表＞をご参照ください。

■ 場所：九州大学 伊都キャンパス（ウエスト 2 号館は㉑，CE40 は㉒になります。）

地図：https://www.kyushu-u.ac.jp/f/43104/2021ITO_jp.pdf

＜年間スケジュール表＞

開催日	講演 ¹⁾		実習 ²⁾	
	午前	午後	午前	午後
6/18（第 3 土）	●	—	—	●1
7/16（第 3 土）	●	—	—	●2
8/20（第 3 土）	●	—	—	●3
9/17（第 3 土）	●	—	—	●4
10/15（第 3 土）	●	—	—	●5
11/19（第 3 土）	—	—	●6	●7
12/10（第 2 土）	—	●	●8	—
2/4（第 1 土） ³⁾	●	●	—	—

注 1) 講演会場は附属環境工学研究教育センター（CE40）2 階を予定。（変更の可能性あり。）

注 2) 実習の各コースの実施会場は以下のとおりです。

初級コース：ウエスト 2 号館 1106 号室，夏季特別コース ウェスト 2 号館 1106 号室

注 3) 2 月の講演は午前と午後に講師各 1 名を予定しております。

＜ご来場について＞

①お車でのご来場

入門ゲートにてメールで送付される「案内」を提示いただければ、無料にて入構できます。

また、附属環境工学研究教育センター（CE40）周辺に駐車スペースがございます。

②公共交通機関でのご来場

以下サイトをご参照ください。

GIS 基礎技術研究会 ホームページ：<https://asia.doc.kyushu-u.ac.jp/NPO/gis.html>

【問い合わせ・返送先】

GIS基礎技術研究会事務局 E-mail：gis.kenkyukai@gmail.com（担当：緒方，谷口，本田）

令和4年度 実習及び技術相談

実習は、**年8回**、**伊都キャンパス**にて実施します。なお、実習に必要なソフトウェアは無料で配布致します（ただし、九州大学内の使用に限ります）。また、Wi-Fiによる無線LAN環境を用意する予定ですので、可能な限り、無線LAN搭載パソコンを持参して頂きますようお願い致します。

(1) ArcGIS 初級コース

ArcGIS Proの基本的な操作からデータの作成や解析、マップシェアリング等の基礎技術を習得することを目的とします。

<実習内容> ※以下の内容は進捗状況・受講生の要望によって変更することがあります。

6月	第1回	ArcGIS Proの基礎 (1) 1. GIS および ArcGIS Pro とは 2. インターフェースの名称と役割 3. シンボルの変更
7月	第2回	ArcGIS Proの基礎 (2) 1. フィーチャの選択 (マップからの選択, 属性検索, 空間検索) 2. 空間参照 3. 縮尺の設定 4. ラベルの表示・アノテーションの設定 5. レイアウトの作成
8月	第3回	データの作成・編集 1. 新規フィーチャの作成 2. フィーチャの修正 3. 属性データの編集 4. テーブルの結合とリレート
9月	第4回	外部データの利用, ジオリファレンス, 空間解析 (1) 1. 外部データの利用 (基盤地図情報, 国土数値情報, WMTS 等) 2. ジオリファレンス 3. 空間解析 (ラスター→ポイント, バッファー, マージ, 最近接等)
10月	第5回	空間解析 (2) 1. 再分類 2. ゾーン (ゾーンのジオメトリ, ゾーン統計) 3. 内挿 (IDW, スプライン, クリギング) 4. サーフェス (コンター, 傾斜角, 傾斜方向, 陰影起伏) 5. 密度 (点密度, 線密度, カーネル密度) 6. 距離 (ユークリッド距離, コスト距離, コストパス等)
	第6回	3Dデータの表示・解析 1. 3Dデータの表示 (フィーチャの立ち上げ) 2. 3D解析 (切盛, 断面図, 見通し, 可視領域等)
11月	第7回	タスクの作成
12月	第8回	総合演習

(2) 夏季特別コース

ArcGIS Pro の基礎的な操作を習得している方を対象に、様々な GIS 解析を実施するために必要なプロセスやツールの具体的な取扱い方や手法の習得を目的として、「ArcGIS Pro 応用コース」を午後（13 時から 3～4 時間程度を想定）から開始で計 5 日間の短期集中型の夏季特別講座として実施致します。開催内容の詳細が決定次第、別途メールにてご案内いたします。

(3) 個別テーマコース

業務・研究などで GIS を使用される方のコンサルティングを行います。

<講師> 三谷，谷口，本田

以上

NPO 法人環境システムフロンティアのご案内

NPO 法人環境システムフロンティアは、開発と環境の調和をめざす望ましい社会基盤を構築し、維持していくための情報技術、建設技術、環境技術などの研究開発、応用、普及などの活動を行い、その活動を通じて行政やその他の団体と市民・地域との連携を支援し、社会教育、まちづくり、環境保全、防災、国際協力の推進に寄与する活動を行っております。

令和3年度は次の活動を行いました。

- ・ 社会教育の推進を図る活動：GIS 基礎技術研究会
- ・ まちづくりの推進を図る活動：トンネル長寿命化計画更新製作
- ・ 地域安全活動：災害リスクコミュニケーション支援事業（糸島市，大野城市，東峰村）
- ・ 情報化社会の発展を図る活動：地方自治体へのクラウド基盤の提供事業
（佐賀県多久市・唐津市，福岡県糸島市・東峰村・中間市，熊本県山江村）

令和4年度は次の活動を予定しております。

- ・ 社会教育の推進を図る活動：GIS 基礎技術研究会
- ・ 地域安全活動：災害リスクコミュニケーション支援事業
- ・ 情報化社会の発展を図る活動：地方自治体へのクラウド基盤の提供事業

本 NPO の会員の方々には、上記の活動に参加いただくことが可能となります。この他にも本 NPO では、環境の保全を図る活動、災害救援活動、国際協力の活動も可能となっており、本 NPO に入会頂くことで本 NPO の一員としてこれらの活動が可能となります。GIS 基礎技術研究会への参加とともに、ぜひ入会をご検討頂けましたら幸いです。

（本 NPO への入会に際して、GIS 基礎技術研究会の参加費に追加される費用負担などの追加は一切ありません。）

入会に際して、ご不明な点がございましたら、GIS 基礎技術研究会事務局宛にメールにてご連絡ください。

以上